

<2023年10月の屋上庭園>

本当にどうしたことでしょうか。10月とは思えない気温が続き、半袖でも汗をかきながらの作業となっております。春咲き1年草の種まきは、例年だと9月中旬～下旬には蒔くのですが、気温が高すぎて躊躇してしまいます。

とりあえず、9月下旬には痺れを切らして、蒔いたのですが、チドリソウやアマは発芽率がかなり悪く、残念に思っていました。念のため、しばらく育苗ポットをそのまま管理していたところ、諦めきったところに発芽したのです。やはり、発芽気温には暑すぎる環境だったということです。

発芽が遅くなると、苗がしっかりする前に冬の寒さにあたることとなるため、成長に影響が出ないか心配です。こうやって、温暖化は植物の生育環境にも確実に影響を与えていっていることを実感します。

さて、3年前に植えた「ユッカ バリエガータ」が2株ともつぼみを付け、すくすくと育って見事な花を咲かせました。白くて可愛い花がピラミッド状に下から先進んでいきます。

次に花を咲かせてくれるのは何年後になるのでしょうか。



今年も、フジバカマが見事な花を咲かせてくれ今年一年の屋上庭園の有終の美を飾ってくれています。こんなにたくさん咲いてくれているのに、まだアサギマダラを目撃したことがありません。

私の知らないところで訪れてくれているのか、

まだ、気づいてもらえていないのか……。ここで会ってみたいと待ち焦がれて早何年？

これから、一年草は寒さの限界まで命をつなぎ宿根草は休眠期に入る準備を始めます。

